

(会議の経過) 波賀中学校区 第8回学校規模適正化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
委員	<p>次第3. ①各小学校区の意見集約の状況について、各小学校区代表より報告波賀小PTAの状況を報告する。2月7日に参加者70数名であったが、教育委員会より説明を受け、その後、アンケートも再度実施し回収も終了した。説明会の中である程度予想もしていたが、対等合併という感覚がPTA会員に浸透していないということで、当日、方向性について挙手を求めたが手が挙がらない人が多数を占める形となった。対等合併ということ抜きに、3校が一緒になるということに対しての反対は全く無かったが、どういう形で進めていくかということがつかめていないことがあり、3校一緒になることについては賛成かという問いに対しては6～7割程度のOKがもられたと思う。アンケートについては、校名・校歌・制服・遠距離通学(スクールバス)・その他の5点について意見を求めた。125会員中100人、約8割の回答が返ってきた。まだきっちりした集約はまだだが、校名については波賀町にあるのだから波賀小学校という意見と、3校一緒になるのだから新しい校名でという意見が半々程度だったと思う。校歌・制服については当然変えていかないとはいけないだろうというものや、制服については中には無くてもいいのではないかと、また期間を設定して経済的な負担を軽くできる方法を考えてほしいというような意見もあった。遠距離通学については、南部地域についてもスクールバスでという意見と、従来どおり神姫バスを利用したいという意見、他に距離的な問題もあるかもしれないが水谷地区、斉木3区などについては検討してもらえないかというような意見もあった。数値の集計はできていないが、また見てもらえたらと思う。</p>
委員	<p>野原小校区では2月17日にPTA総会並びに地域の懇談会を開催した。出席者は25名、夫婦での出席もあったため、地域代表の方、関係団体の方も含め決議人数としては21名で挙手による決定となった。ほか委任状出席が8名、欠席は3名であった。実施場所については、教育委員会の意向は波賀小学校以外にないということで、承認をとる形とした。その結果、21名中19名が波賀小学校の場所でいいという結果になった。野原小学校区の意見として、もちろん安全面等について後で意見もあったが、場所は波賀小学校の場所でいいということになった。実施時期については、委員からの説明として、前回8月29日の第1回総会から意見交換は進んでいるものの状況的には進んでいないということ、また、先ほど波賀小学校PTAからもあったように同等合併の意識が波賀小学校区で保護者以外の方の意識が特に無いのではないかと説明した。その説明の結果から26年、27年で賛否をとった。その結果、26年が21名中5名、27年が21名中15名となり、野原小学校区としては27年4月からの統合を希望したいということを決議として出したい。その中の意見として、まだ周知が徹底されていないこと、また他の地域との意見交換ができていないこと、学校が閉校するにあたって来年の春から閉校する準備ができるのか、それも含めて時間が足りないのではないかとということで、今回の結果となった。その他、まだまだ子ども同士の交流が少ないのではないかと、授業単位でも交流していったらいいのではないかとというような意見が出ていた。</p>

委員	道谷小学校保護者が全員集まって協議をした結果、場所は現波賀小学校の場所でよいということ、時期は27年4月が一番良いのではないかとということとなった。他に制服の問題、跡地の利活用として現波賀小学校での授業だけでなく、たまには全児童が道谷小学校で授業をするなどしてもいいのではないかとというような意見が出ていた。
会長	波賀小学校では野原・道谷小学校区の意見を尊重するとしている部分で、実施時期（26年・27年など）については話はされていないということではないか。
委員	はい。
会長	事務局よりコメントがあったらお願いする。
事務局	各地域PTAの会長さんはじめ、これまでいろいろとご苦労いただいて先ほど報告いただいた各校区の思いをまとめていただいたことに感謝している。大きな課題もあり、学校が無くなることにもろ手挙げて賛成ということはないということも重々承知しているが、子ども達の教育環境のためにということ第一義に考えていただき、まとめていただき感謝する。 波賀小PTA代表から報告があったが、その後のアンケートで波賀町だから波賀小という意見と新しい校名をとという意見が半々だったということは3つの学校を一つにするという部分では波賀小の保護者さんも共通の理解ができていのかと感じた。この後、委員会の方向性として次第に示しているが、皆さんの中でそういうこともお含みいただいて方向性を導きだしていただけたらありがたいと思う。
事務局	次第3②「地区別協議会の協議イメージ等について」説明
委員	イメージ図に部会があるが、正副部会長などはあるのか。
事務局	相談になる。部会の数も相談してもらうこともできるし、学校にまかせるということもあると思う。
委員	協議会になったら3小学校の校長はじめ教職員が一丸となって協議会の事務に携わると考えていいのか。協議会全体の事務局は教委事務局だと思うが、今度は学校が事務局と考えていいのか。当委員会には学校も入らず、PTAの協議に時に先生も入れなかった経過もあるのでたずねる。
事務局	今後、部会になると学校の先生が入ることになり、案内や取りまとめなど、学校を事務局として部会ごとで進めていただくことになる。
委員	千種の協議会だより最終号（2月発行）で校歌の歌詞の募集について書かれているが、校歌は4月の開校に間に合ったのか。積み残しがあったのか。
事務局	校歌について、千種では新校開設後に制作することと決定された。これは学校の教育理念や目標、学校の経営方針とも密接に関係するためということで、24年4月に合併したが、入学式には校歌がない状態だったが、4月以降早々に校長と相談し、一から歌を作ることは難しい状況から、子ども達やPTAなどから歌詞に盛り込みたいワードを募集し、その後は専門業者に委託をして決定した。経過がある。10月完成、11月初旬のコミュニティスクール事業での保幼小中高合同ふれあい文化祭で校歌の披露を行った。
委員	協議会だよりはどこにむけての発行だったのか。
会長	千種では保護者に向けて出されたが、波賀では当委員会だよりも地域に向けての発行としたが、そのことは協議会の中で相談できると思う。

事務局	子どもに持ち帰らせて保護者にはお渡ししたが、他に市民局や生涯学習事務局などに配置し、地域の方に自由に取っていただけるようにした。
委員	地域の方はどのように方向に進んでいるかわからないとの意見も聞いたので、保護者の意見も大事だが、住民にもお知らせがいると思う。
事務局	地域の委員会だよりも方向性の決定をお知らせするため発行が必要と思っている。協議会だよりについても同様にすることであれば、協議会移行時に当委員会委員からも委員に入ってもらえると思うので、その際に意見として出してもらえたらと思う。事務局もこの意見を聞いてもらうようにしたい。
事務局	千種はこのようにしたが、それにこだわるものではなく、波賀として全住民の方にとということであれば、それも可能である。
委員	波賀小保護者アンケートについて、大阪で小学生が統廃合に反対して自殺をするということがあった後に出したこともあり、子どものことを思って大人が大人の都合で討論していることで、子どもの意見の吸収や気持ちを聞いてやるということが抜けているように思うので、その点はきっちりフォローしてやらないといけないという意見が何件か戻ってきており、そのことは地域の委員会で伝えてほしいというメッセージがあった。事務局あるいは当委員会で対応できることがないか、検討してほしいと思う。
事務局	※事件報道について事務局より概略報告 今回の事件があったからということではなく、学校の先生を中心にお願いすることでもあるが、慣れ親しんできた学校を変わる子ども達への十分なケアや、心がどういうふうに動くのかなど、大人、教育委員会の責務として、学校現場また保護者とともに、そういうことがないように努力していきたいと思っている。
会長	教育委員会、学校、地域一緒に力をあわせてやっていくということをお願いする。
会長	次第3③委員会の方向性について、決めることとしていいか。
委員	当初から出ていた全体の意見も概ね集約できており、方向性を出してもいいのではないかと思う。
委員	波賀小PTA説明会の後の結果を聞いて、野原・道谷は時期も場所も具体的に決定されているが、波賀小校区では対等合併などについて問題があり、その状況で当委員会で決定して進めていいのか、流れはわかるが波賀小校区の方はどうか。
委員	波賀小PTAでは、3校が一緒になることに対しては何も問題はないと思う。対等合併、波賀小を一旦閉校することが会員にないというのも事実だが、理屈ではわかっているも感情的にわかりたくない人がいるのではとも思う。現にある波賀小に集積されることが吸収との勝手な思い込みがあるのではと思う。アンケートでも校名について半々と報告したが、名前を変えてもいいという中にも波賀町にある小学校が表現できる名前という表現もあり、名前に波賀町の特徴を残してほしいという意見があり、一方で小規模校の意見として表に出にくい大勢でない意見を汲み取るということとは

委員	<p>大事なことだと思うので、数の論理で聞かなくてもいいという話にはできないというのが波賀小の立場だと思う。中学校でも同じ学校に行くのだから一緒に勉強したらいいという感覚は波賀小にもあると思う。そういう感覚的な違いをすりあわせていくためには、PTA同士、親同士の交流がもっと必要だと思うので、野原・道谷小学校区で27年という時期を出されたが、その間に保護者の交流をもっと進めていかないと伝わっていかないとと思う。そういう部分も含めて、もっと交流を活発に進めていかないといけないと思う。</p> <p>交流をして道谷の子どもが波賀小や野原小に行くことはたびたびあるが、自分の同級生でも子どもの時に道谷小がどこにあるか知らない子もいた。道谷・野原の場所を知ってもらうため、全員では無理だと思うが、少しずつ時間をかけてやってもらい、わかってもらうことも大事だと思う。地域の高齢者の方は、過去に学校の統合も経験し、ダムの下に集落が沈んでいく辛い経験もされている。そういう方もおられることを知った上で、コミュニティ、連携づくりをした上で、協議会設置にあたってはその気持ちを忘れずに次に進めてほしいと思う。</p>
会長	<p>コミュニティスクールの取り組みで小小交流もされており、学校間での行き来もあるが、それをより深めていただき、子ども達がプレッシャーを感じないように、協議会になってもお願いしたいと思う。コミュニティスクール推進委員会で、地域の委員会の報告をしたが、委員会とコミュニティスクールは別だが、交流については自然学校だけでなく学年ごとの交流について依頼をした。校長先生を中心にやっていただけたと思うので報告しておく。</p>
会長	<p>自治会長会ではなるべく早くということで26年という話も出ていたが、本日の校区保護者の意見等から27年でできっちり進めていくことについてどうか。</p>
委員 委員 委員	<p>各校区で意見集約された結果であり、自治会としてもそれでいいと思う。委員の皆さんの意見の中で決めてもらったらいと思う。</p> <p>野原小校区の総会にも出席したが、みんなが固まって賛成してもらえて、波賀小校区の方にも早く賛成してもらえて、27年4月からスタートできるようにお願いしたいと思う。</p>
委員	<p>PTAの意見を尊重するということが大前提で進んでいたのが、PTAの思いがそうであればそのようにしてほしい。</p>
委員	<p>先週、道谷自治会の総会で当会の進捗状況等を報告した。PTAも27年4月で希望しているので、その方向で進めてもらったらいと思う。</p>
委員	<p>波賀小校区は野原・道谷の意向を尊重することとしており、両校区が27年4月の意思が固いようであればその流れでいいと思う。協議会は千種は2年</p>

事務局	<p>間かけてやっているが、仮に27年になっても協議会は2年間、完成するまで続くということになるのか。</p>
委員	<p>話し合っていたらいいと思う。千種は変則的に適正化が進んだが、22年6月に協議会を設置し、翌々年度の実施予定校区も参加して協議会で協議し、最後の協議会は23年11月で、実質1年半かけての協議となった。野原小校区でも大阪の事件のことを心配している保護者があり、26年といっていたものが27年になったのは、子ども同士の交流の時間をたくさん持ってほしいという親の意見があったと思う。会議後、母親達で話したことも、まとまった形で自然学校等たまにイベントごとでの交流がされているが、そういう交流だけでなく普段の授業の交流、例えば必ず週に1回でも体育でも音楽でも授業で一緒になるなど、そういう形で交流をしてほしいというのが主であった。子どもの話を聞くと子どもは合併はイヤだと思っており、今までこじんまりとした中で生活しているので、大勢の中に入ることに勇気がある。今、子ども達に合併のことについて聞いたら、合併はイヤで野原のままという意見が出てくると思う。しかし、たくさんの友だちとこういう楽しいこともあるということを経験して、子ども同士がわかっていく期間をとるためにも、野原は長めの時間を出していると思う。全学年が行くというのは大変だと思うが、普段から例えばこの曜日はこの学年が行くという小さい交流をたびたび持って、子どもが大勢の中に行くことを怖いと思わないように環境づくりをしてもらえたらいいと思う。</p>
委員	<p>道谷の子どもが2~3人で行って波賀小で交流した時も、同じ学校の子どもとしか遊んでいなかったり、話した子どものことを聞いても、本当に一部の子どもとしか話せておらず、せっかく行ったのに友達になれていなかったり、また野原小とのスキー交流も結局一人でスキーをしていて友だちのことを子ども自身まったく憶えていなかったり、自然学校でも同じ班の子どもしか覚えていないというようなことがある。体験はいいことだが、子どもは大きな中に入って活動することに精一杯で余裕がなく、各校学年ごとでもいいので週1回、月1回と交流の機会をもってほしい。道谷の子どもでもサッカーの得意な子もいるが、サッカーをしたくてもできないもので音楽もそうである。そういうことを道谷の子どもが行くばかりではなく、波賀の子が道谷や野原に行ってやるなど、子ども同士の細かな交流を深めてほしい。PTAで大人同士がいくら話しても子どもが主になるもので、どう考えても必要なことだと思うので、教育委員会にもそういう交流を深めてもらって、納得した形でできるように、来年度に協議会ができるのであればそこを一番に柱としてやってもらいたい。</p>
事務局	<p>学校教育の立場から、協議会の部会イメージで教務部会の中で交流学习等</p>

事務局	<p>に関することとあるが、子ども達がスムーズに新しい学校に移行できるように、学校の先生を中心にそれを話し合う場もできる。今いただいた意見についても、一つのアイデアとして盛り込んでいけたらと思う。また3小学校の年間スケジュールの調整もしながら、1日かけて給食も食べて交流する、またその交流場所を波賀小だけでなく野原小や道谷小とするなど、全体で動くのは厳しい面もあると思うので、検討していただきながら進められたらと思う。この2年かけてコミュニティスクール小学校間の交流も行っておりベースはできていると思っているので、保護者の心配されている点に視点をあてながら交流を積みあげていきたいと思う。</p> <p>新しい学校になると、それぞれ校区が広がることになり、今までの交流は校区が前提の交流となっており、それでは垣根がとれないと思う。子ども達が波賀町全体が自分達の学校の校区だと意識づけする、そういうことも大事な視点だと思うので、後の協議会の中で皆さんと相談させていただきたいと思う。</p>
会長	<p>コミュニティスクールの部分が学校運営協議会制度に変わる部分の中で、委員の中には学校評議員をされていた方や現在されている方もおられると思うので、そういう場でも話をしてもらって、子ども達がプレッシャーを感じずにスムーズにいけるようお願いしたいと思う。</p>
委員	<p>子どものレベルでも大切だが、親のレベルでもそういうことができなければ、自然と親も知り合いが多くなり、家に遊びに来るようなことも増えると思うので、親のレベルも大事だと思う。また、野原ではN J Aは学校関係とは違う方が代表をさせていただきおり、そういう意味でP T Aを超えている部分もある。オーストラリアからの受入れも保護者同士でプレゼンして決めており、N J Aは他地域の方でも意向に賛同していただければ入会いただけるし、会員でなくてもお祭りの時には来てもらってもかまわないと思うので、参加してもらって交流してもらえたらと思う。その上で協議会で詰めた話をさせていただいて、継続するのかどうかについても協議してもらえたらと思う。野原校区の会員の中で、反対という方もおられるし、協議会になってから合併をやめてもいいのかと言われる方もおられる。相生の例を出して無いとは言い切れないとはいっているが、今、当会の中で統合に向けて前向きに進んでいるので、なるべくそういうことがないように、そういう方の理解も得るようにすることは協議会の中で必要だと思う。</p>
会長	<p>委員会で方向性を決める内容は、新しい学校の校舎はどこに、また、いつ頃ということになる。今日の議論の内容から波賀小校舎を使用するという点については、地域委員会で決定していいか。</p> <p>波賀小校舎を使った新しい学校を目指すということに委員会として承認いただけるか。拍手でお願いします。</p>

	<p>※委員拍手で承認</p> <p>次に時期については27年4月とし、2年間かけていろいろな垣根、またプレッシャーや子どもの負担にならない形、いろんなことをしていく、そしてまた波賀小校舎の改築などしていくなかでということで、27年4月ということでよろしいか。拍手でお願いする。</p> <p>※委員拍手で承認</p> <p>委員会として場所は波賀小校舎を使った新しい学校、時期は27年4月開校で進めていくことで決定する。</p> <p>委員会の報告書の提出については、方向性（場所・時期）については決定したが、それにかからない部分として、交流を十二分にやってほしい、それについては道谷・野原小学校の子ども達が波賀小学校に来るだけではなく、ある時は道谷小学校へ、ある時は野原小学校へというような形になるように、教育委員会として後押しをしてほしいというような条件を付し、その条件について十分な配慮を求めるような内容を付け加えることについて事務局と調整したいと思う。報告書の原案作成後、委員各位に確認いただき、意見をいただくことにしたい。最終、教育委員会あて提出する。</p> <p>この地域の委員会については今回で終了することとする。長期間ありがとうございました。</p>
委員	来年度の組織について、協議会が立ち上がるということで、その会の出席者については各校区で決定してもいいのか。
事務局	事務局からの提案になるが、今後のスケジュールとして地域の委員会からの報告書の提出を受け、それに向けて踏み出すことを教育委員会として決定した後で協議会を設置いただくことになる。組織も教育委員会からお示しするのではなく地域の中で選んでいただきたいと思うが、そのあたりの最初の声かけを当委員会 中岡会長を中心をお願いをできないか。
会長	自分の任務は地域の委員会での方向性決定までとっており、また学校運営協議会との連携の部分もあり人選が難しい面もあると思うので、協力はするが事務局でお願いしたい。
事務局	新年度に入ると地域の連合自治会長各位にもこれまでの経過を説明しお世話になることになるが、並行して地域での人選作業にかかっていたいただければと思う。少なくともPTAの代表の方、地域から4人の方、全部で5名の方については、地域から選んでいただく準備をお願いできると、新年度に次の場にスムーズに進めると思うのでお願いしたいと思う。
事務局	各団体とも改選時期でもあり、団体の代表の方個別に調整させていただきたいと思う。
委員	持ち帰りしなくてもいいということでもいいか。
事務局	役員の体制が概ね決まっているようであれば、心づもりもあると思うの

委員	で内々に話しておいていただけるとありがたい。
事務局	他の人が選定されることもあるかもしれないので、PTA会長でいいのかなということもある。PTA関係で1名ということだったと思うが。
委員	PTAから1名と地域から4名としており、その4名の中にPTAから入ってもらうこともできる。千種はPTA代表はPTA会長で、あと4名の中にPTA副会長2人が入っておられ、どの校区もPTA正副会長3人が入っておられた。
事務局	千種ではPTAから9人入っていたということか。
委員	そうである。
事務局	道谷はPTA会員が2人のみで、そのようにあてはまらないが。
委員長	PTAとして限定するものではないので、地域4人という中で選んでいただけたらと思う。
委員	校区内で相談してもらったらと思う。
事務局	次の会長が決まった時点で、内々に調整してこの人を出すという形でいいということか。
委員	それで結構だが、役員が変わられる際に引継ぎをお願いしたい。
事務局	中学校は入るのか。連合PTAの会長になれば入るのか。
委員	できれば連Pの会長には入っていただきたいと思う。
委員長	今は中学校の会長が連Pの会長という流れになっている。
事務局	中学校の校長も入られることになり、PTA会長にも入ってもらうという
委員	ことで。
事務局	学校規模適正化の話は進んでいるが、幼稚園の話で時期をここに合わせるようになっていたと思うが。幼幼の話であり別とは思いますが、ここでこのように進めていくとなったら幼稚園も同時になるとするなら、幼保の方も方向性を決めていかないと同時に進めることはできないと思うので、幼保の委員会でも学校規模適正化の方向性を言うておいてもらわないと後付けになったら困ると思う。
委員	あわせるとしているのは幼幼のことである。小学校がある間は 野尻の幼稚園として置いてほしいということで幼保とは違う。
事務局	小学校が波賀小に来ているのに幼稚園だけ残るということはないということについて事務局より説明をしてください。
委員長	教育委員会としても小さすぎる幼稚園について、幼保一元化を待てない園も出てくると思うので、幼保一元化と切り離して幼稚園のことについて、野尻幼稚園の保護者さんと2回懇談もさせていただいた。一元化と切り離してこちらの幼稚園に行かれるということ、教育委員会として否定するものではない。
事務局	幼稚園・保育所の機能を一つにした認定こども園について、一定の規模を

<p>副会長</p>	<p>確保し、集団での保育・教育をしていきたいとして提案させてもらっている。これまで幼稚園同士の統合を進めてそれから一元化を進めたらいいのではないかという意見もいただいていたが、教育委員会としては認定こども園というビジョンに向かって進めたいという回答をしていたが、一方で幼児教育を保障していきたいとの思いから検討もしてきたもので、昨年、あまりにも幼稚園として園児が少なくなっている野尻幼稚園と土万幼稚園の2園に、野尻は波賀幼に土万は菅野幼に一緒になることについて提案させてもらった。土万幼は25年4月から休園して菅野幼に通園されることとなった。野尻も声かけをしたが小学校と一緒にいきたいとのことであったので、そういう方向で調整させていただくことがいいのかなと思っている。</p> <p>(閉会)</p> <p>概ね1年かけての協議となったが、一步前進することができた。委員各位にはご苦勞様でした。25年度にはまた協議会の設置もありお世話になると思うが、いい議論ができるように依頼し本委員会を終了します。</p>
------------	---